

[107]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 107

<https://doi.org/10.15017/1484985>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 107, pp.1-3, 1975-11-05. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学 大型計算機センターニュース

No. 107

1975. 11. 5

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL.092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ XYプロッタジョブのエラーメッセージについて.....	1
◇ 新規に登録されたライブラリについて.....	2
◇ 利用の手引 ライブラリ編の訂正.....	2
◇ 利用の手引 基本編の訂正.....	2
◇ 利用の手引 T S S 編暫定版の訂正.....	3

◇ XYプロッタジョブのエラーメッセージについて

XYプロッタの出力形式変更に伴って、出力制限値によって打ち切られた場合および SIDE ENDエラーとなった場合にシステムから出力されるメッセージは次のとおりになっています。これらのメッセージはジョブ制御文のリストの後のジョブステップ情報の所に出力されます。

① JB2262Z JOB=(ジョブ番号) 'SIDE END' NO TAME KONO
FILE O UTIKIRU

サイドエンド発生回数が20回をこえたときこのメッセージを出力し、このジョブステップ
のプロッタ出力を打ち切る。

② JB2263Z JOB=(ジョブ番号) 'TIME OVER' PLOT NO
SHUTURYOKU O KOKO DE UTIKIRU

XYプロッタ使用時間が、制限値を越えたときこのメッセージを出力し、このジョブのプロ
ッタ出力を打ち切る。

③ JB2264Z JOB=(ジョブ番号) 'SHEET OVER' PLOT NO
SHUTURYOKU O KOKO DE UTIKIRU

XYプロッタ紙長が制限値を越えたとき、このメッセージを出力し、このジョブのプロッタ
出力を打ち切る。

(業務掛システム管理班 電話(内)2255)

◇ 新規に登録されたライブラリについて

以下のプログラムを試用期間中のライブラリとして登録しましたので、お知らせします。

登録番号	IDコード	題 目 (EBNAME)	形式	ファイル名	ファイル定義名	マクロ名	複製・作表用ファイル名
158	Y3/QC/Z/CC01Q	殻模型における有効相互作用	RB	QS, ALIB, RB1	—	¥PLIBRUN	A, LIB
159	G9/QC/Z/SPSS	社会科学のための統計パッケージ (SPSS)	EB	M T	—	¥APRUN SPSS	——

- 1) コンパイルリスト、使用方法説明書はセンタープログラム相談室および図書室にあります。
- 2) 複製・作表のためのマクロは¥LIBCOPYです。

(ライブラリ室 電話 (内) 2 2 5 9)

◇ 利用の手引 ライブラリ編の訂正

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
91-1	1	Y1/QC/Z/RLC3	Y3/QC/Z/RLC3
140-2	1 ↓ 8	¥NO ¥USER ¥QJOB ¥APRUN EBNAME=UORTEP データ ¥F. WORK F08 ¥PLOTTER ¥JEND	
147-2	10	¥F. WORK F02 ¥F. WORK F03	¥F. WORK F02

(ライブラリ室 電話 (内) 2 2 5 9)

◇ 利用の手引 基本編の訂正

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
6-2	表6-1	(カード出力枚数 B) 2000	(カード出力枚数 B) 1000

(共同利用掛 電話 (内) 2 2 5 6)

◇ 利用の手引 T S S 編暫定版の訂正

頁	行	訂 正 後	訂 正 前
12	下から 8行目	(3) オリジナル・ファイル又はA TTACHコマンドによって指定し たファイルに存在するプログラムを 実行させる。処理には翻訳、結合編 集、実行の段階があり、省略時には、 次節に述べているような標準値をと るが結合編集(LIED)時の実行 パラメータを変更する場合、必要な 部分のみでなくすべてを指定しなけ ればならない。なお、実行パラメー タ記号等については言語(処理プロ グラム)により異なるのでそれぞれ の文法編又は使用手引書を参照する こと。	(3) オリジナル・ファイルに存在 するプログラムを実行させる。処理 には翻訳、結合編集、実行の段階が あり、各段階の実行パラメータを指 定する場合には、段階ごとに、 で区切ってパラメータの並びをすべ て指定する。
16	下から8 行目の後 に追加	ここで述べてきたパラメータは省 略可であり、FD名は通常意識しな いでもいいが、これらのサブシステム を実行する前(RUNコマンドの前)にATTACHコマンドにてサブ システム内の定義と同じFD名を指 定すればそれが優先する。	

(共同利用掛 電話(内) 2 2 5 6)